No.

「農村生活改善協力のあり方に関する研究」検討会
第２年次報告書（第３分冊）

農村生活改善手法適用調査
―「マレイシア・サバ州農村女性地位向上計画」における検証―

2003 年 3 月

国際協力事業団

農調計
ＪＲ
03-32

「農村生活改善協力のあり方に関する研究」検討会
第２年次報告書（第３分冊）

農村生活改善手法適用調査
―「マレイシア・サバ州農村女性地位向上計画」における検証―

2003 年 3 月

国際協力事業団

目　次

調査対象地　地図
略語一覧

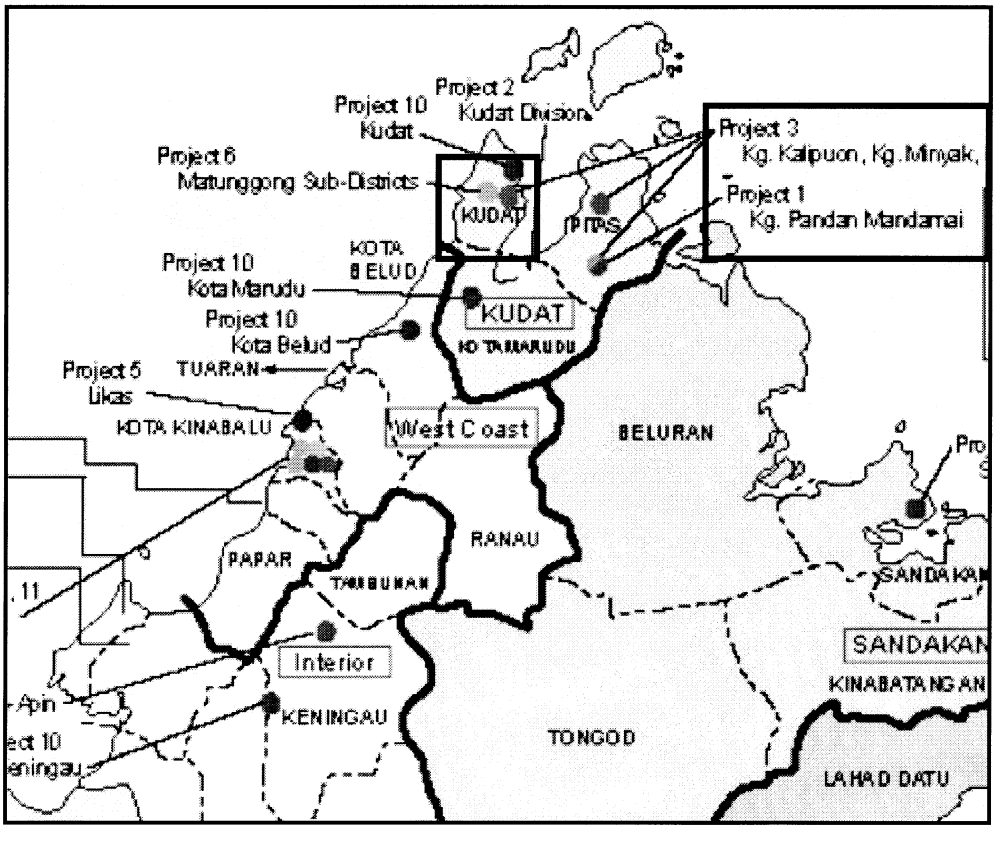
第Ⅰ章　総括 …… 1
（1）途上国農業・農村開発分野における生活改善手法検討の概略 …… 1
（2）マレイシア・サバ州における適応検討 …… 2
（3）「向上計画」関係政策立案者を対象とするセミナー…… 4
（4）生活改善手法の適用 …… 4
第Ⅱ章　調査概要…… 6
（1）背景 …… 6
（2）目的 …… 6
（3）参加関係者 …… 6
（4）日程 …… 7
（5）内容 …… 7
（6）調査団員 …… 7
（7）調査日程 …… 7
（8）セミナー報告 …… 8
第Ⅲ章「農村生活改善協力のあり方に関する研究会」活動経過報告 ……13
（1）研究会の歩み……13
（2）マレイシア調査に関して……15
第Ⅳ章　農村調査･ワークショップ報告……17
（1）「遠隔地農村女性への啓蒙・教育活動拡充プロジェクト」……17
（2）「未利用資源および廃材活用プロジェクト」……19
（3）「観光開発に沿った地場製品販路拡大プロジェクト」……23
（4）普及員に対する生活改良普及員のコメント……24
（5）生活改良普及員のコメントに対する考察……（太田美帆）25
第Ⅴ章　生活改良普及員から見たサバ州農村の印象と生活改善の可能性
……（藤井チエ子・吉武和子）28
（1）クダット県４村の印象(２月１２日) ……28
（2）パンダン・マンダマイ村の印象(２月１３日) ……29
（3）カプリオン村の印象(２月１４日) ……30
（4）生活改善の可能性……30
（5）今後専門家派遣を想定して整備すべき条件……32

第 VI 章パイロット活動の今後の展開についての提言……（富田祥之亮）34
（1）活動の成熟状況に合わせた研修技術の投入をしよう……34
（2）まず実行できる簡単な活動を直ちに始めよう……34
（3）「ファシリテーション技術」を普及員研修の柱の一つにしよう……35
（4）活動成果品を住民のもとに戻そう……35
（5）政策立案課程での制度化のあり方……36
（6）KPD タムーの役割の明確化を早急にしよう……36
（7）おわりに ……36
第 VII 章　日本の生活改善手法は国際協力に役立つか……（伊藤幸範）38
（1）はじめに……38
（2）調査手法……38
（3）調査方針……38
（4）調査結果……38
（5）結論……42
（6）おわりに……42
第 VIII 章　「生活改善普及」発信方法の課題……（太田美帆）43
（1）誰に対して発信するか……43
（2）どのように発信するか……47
第 IX 章　作成・収集資料一覧……49
（1）作成資料……49
（2）収集資料……49
第 X 章　付属資料……50

調査対象地　地図

マレイシア
サバ州

サバ州プロジェクト・サイト



出典：2002 年「マレイシア国サバ州農村女性地位向上計画」インテリム･レポート

略語一覧

DOA(Sabah)	Department of Agriculture	サバ州農業局
KPD	Rural Development Corpoation (Korporasi Pembangunan Desa)	サバ州農村開発公社
KPLB	Ministry of Rural Development	サバ州農村・起業開発省
JKKK	Village Development and Security Committee	村落開発委員
OISCA	The Organization for Industrial, Spiritual and Cultural Advancement -International	財団法人　オイスカ
YUM	Yayasan Usaha Maju	サバ州マイクロクレジット基金